

業務で PC を使うすべての 経営者に聞いて欲しい!

オンラインセミナーのご案内



本当に怖い! サイバーリスク

2023年7月21日(金) 14:00~15:30

近年、顕著に増加傾向にある「サイバーリスク」、と一口に言ってもそのリスクは従業員の単純なミスによる個人情報・機密の漏洩やサイバー攻撃による機密漏洩、身代金要求等多岐に渡ります。サイバー被害に遭われた企業の多くは、それまで、このリスクをどこか他人事と捉え、対応が後手に回り被害が拡大する傾向にあります。

経済産業省の「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」には「事業の基盤として用いるシステムや営業秘密等の重要な情報に対する企業戦略上の価値・役割を認識し、サイバー攻撃によるリスク対処に係る方針を明確にすることがあげられる。」と記載されています。何が課題なのか、どのように被害が拡大するのか、をご認識いただき、対策を考えていただく機会になればと願っております。是非ご参加ください。

講師 P.C.F. FRONTEO 株式会社 **藤原 弘二 氏**

1996年に大学卒業後、営業職から社内システム管理者、サーバーエンジニアとしてハードニング(要塞化)など担当し、大手通信キャリアではコア・ネットワーク網でのトラフィックエンジニアリングを担当する。大手BPO企業での基盤系エンジニアチームの生産マネージャーを経て、2008年から2018年末まで経営的立場と並行してPCI DSS v2.0 ~ v3.2.1の設計・実装・運営にセキュリティマネージャーとして従事する。2019年からP.C.F. FRONTEO(株)へ参画し、インシデント調査手法の企画やプロジェクトマネージャーとして多数の有事ハンドリング実績を経て現在に至る。



QSA (Qualified Security Assessors)
CISSP (Certified Information Systems Security Professional)
CISM (Certified Information Security Manager)
CISA (Certified Information Systems Auditor)

<第一部>

サイバーセキュリティ経営ガイドライン Ver 3.0 の改訂

昨今、サイバー攻撃は多様化・巧妙化しており、サイバーセキュリティ関連被害が拡大しています。そのため、各企業において、更なる対策の強化や適切に対応することなどが求められており、その時代の変遷と共にサプライチェーン対策推進の重要性をご紹介します。

<第二部>

インシデント被害の実態と調査事例

外部不正アクセスによるサイバー攻撃を受けた際の被害(調査期間&費用)と、実際のインシデント収束までの調査プロセスを明らかにします。サイバーリスクが顕在化した調査事例を基に、調査手法や手順、外部報告などクライシスマネジメント(危機管理)対応への留意点など交えてご説明します。

申込期限 7月19日(水)までにお申込み下さい。
(定員1,000名となり次第、受付終了です)

受講料 無料

問合せ オンラインセミナー事務局
APCSalesPlanningDpt@aig.co.jp

共催 AIG パートナース株式会社
AIG 損害保険株式会社

申し込み方法に関するお問い合わせのみ、ご対応させていただきます。

申込方法 <下記申込サイトよりお申込み下さい>

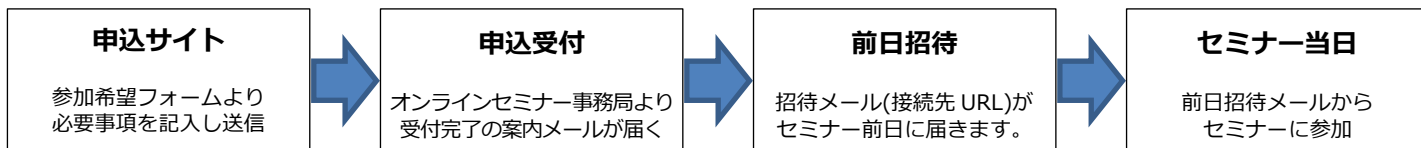
申込サイト

<https://rod-m.com/aig230721-ap/index.html>



<申込みからご参加までの流れ>

※PC・スマートフォン・タブレットでご視聴いただけます。



※参加希望フォームは、AIG パートナース株式会社とセミナー運営会社の株式会社ブレーションに送信されます。

※参加希望フォームにて、ご記入いただきました内容は「お問い合わせの対応」、AIG パートナース株式会社(関連会社・提携会社・扱者含む)からの各種サービスのご案内及び各種情報提供・各種サービス向上等に活用させていただきます。

<イベントに関するご注意事項>

- ・本イベントは予告なく変更・終了する場合がございます。
- ・本イベントの視聴に必要な機器・設備・インターネット接続およびソフトウェア等は視聴者にてご用意・操作をお願いいたします。
- ・本イベントはインターネットで開催されるオンライン配信です。視聴者のご利用環境により映像・音声をご覧いただけない場合がありますので、ご利用前に事前テストを行うことをおすすめします。
- ・インターネット環境等に関するご相談・問い合わせ等については、ご回答しかねる場合がございますのであらかじめご承知をお願いします。